

令和3年度 学校関係者評価及び改善策

(中間 最終)

天応中学校区 校番 22 学校名 天応小学校

評価項目	※評価	理由・意見
目標, 指標の設定の適切さ	A	<ul style="list-style-type: none"> ・小中共に同じ目標であるのが良いです。 ・よく考えられています。 ・目標値が高く設定してあり, 達成度も高く評価できると思います。 ・基礎学力が向上すれば, 学力に意欲的に取り組む姿勢が生まれ, 心身共に発達した児童に成長すると思います。
目標達成のための方策の適切さ	A	<ul style="list-style-type: none"> ・分かりにくいところもありますが, 概ね良いと思います。 ・自分で考える能力を身に付けることにより, 基礎学力の向上や自分の身を守ることへの配慮が出来るので, 大変良いと思います。
自己評価の結果の分析の適切さ	A	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的に示してあり, 適切であると思いました。 ・アンケートの結果と単元テストの結果が直結するようになると良いと思います。 ・学力向上や自立した生活について, 目標に対しての結果は差異がありますが, 結果分析については, とても適切だと思います。
今後の改善策(案)の適切さ	A	<ul style="list-style-type: none"> ・各項目の弱点を補う改善策は適切に出されていると思います。 ・思考, 判断, 表現力を伸ばすには, 先生の技量アップも欠かせないと思います。 ・現状を家庭にも理解して頂き, 学校と家庭のベクトル合わせも必要だと思う。
その他		<ul style="list-style-type: none"> ・目標から改善策まで見える化して行われるのは大変であると思いました。 ・考えることを重視した授業やiPadでの授業等, 従来の指導方法からの大きな変化に対応しなくてはならず, 先生の苦勞が感じられます。 ・学校訪問時間が大休憩でしたが, 1~4年生の子供たちが一緒に楽しそうにドッジボールをしていました。みんな仲良しなんだと思い, 嬉しかったです。

※ 評価は, A(とても適切), B(概ね適切), C(あまり適切でない), D(まったく適切でない), N(分からない)

学校関係者評価を受けての今後の改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・探究的な学習を進めるための研修をさらに続けると同時に単元構想シートを使って, 単元開発を行っていく。 ・情報モラル教育については, セルフコントロール能力の発揮に関するものを含め, 定期的に学年に応じた指導の機会を設けていく。 ・職員に自身の健康管理を意識させた業務改善を実施し, 時間外の勤務時間の目標値をめざしていくようにする。
--------------------	---